

# ぼくのきもちをおかあさんへ

蛭田 陽光

ぼくのおかあさんは、元気マンです。

いつも、元気だから、

「すごいなあ。」って思っています。

かぜもひかない元気な体だし、まい日おとうさんと2人で、  
びようしつではたらいしています。

おきやくさんに、ニコニコえがおで、

「ありがとうございます。」っていいいます。

「どうしておかあさんは、そんなにがんばっているの?。」つ  
てきいたら、

「おかあさんには、今ゆめがあつて、いえとびようしつを  
いっしょにしたいんだ。」っていいいました。

「どうしてかな。」って思つてまたきいてみたら、

「すこしでも、かぞくみんなでいっしょにいたいから。」つ  
ていいいました。

ぼくもいっしょにそのゆめをかなえたいと思ひ、おかあさ  
んのおつたいは、前よりたくさんするようになりました。

おかあさんは、おりよりがすきで、パンや、おかしづくり  
も、大すきです。

ぼくもいっしょに、パンをこねたり、パンに、あんこを入れ  
て、あんぱんをつくるおつたいもしています。

パンがやけるにおひは、すこくいいにおひで、パンをやくだ

びにおかあさんは、

「こんなにおいしいから、パンやさんになれちゃうね。」つ  
てわらっています。

おかあさんの、つくるふわふわパンみたいに、おかあさんは  
ふわふわあつたかいです。

おかあさんは、ぼくを、いつも元気にしてくれます。

おかあさんの、すきなかしゆのきよくで、  
あしたはきつといいひになるつてきよくがあり、おかあさ  
んはそのことばが、すこくすきで、氣にいっついて、まい日よ  
るねる時に、

「あしたはきつといい日になる。」

つていうから、ぼくが、そのあと

「今日よりもつといい日になる。」つていって、おかあさんが、  
「大すきだよ。」つていってつてくれて、ぼくも、「大すき。」つ  
ていってからねています。

おかあさんが、

「あしたはきつといい日になる。」つて、いってけると、まほ  
うのことばのようで、あしたがたのしみになります。

だから、ぼくはつたえたい。

「おかあさん、いつもありがとう。」